

## 原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について ( 2014年12月 検針分 )

2014年7月～2014年9月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。  
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2014年12月 検針分の単位料金は2014年11月 検針分 に比べて、1m<sup>3</sup>(45MJ)当り  
▲ 0.2754 円(消費税込)、標準家庭(26m<sup>3</sup>)では月額 ▲ 7 円の調整を行うこととなりました。

### ●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	2014年11月 (A)	2014年12月 (B)	(B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	256.0778	255.8024	-0.2754
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	198.0843	197.8089	-0.2754

### ●平均原料価格

	単位	2014年6月 ～ 2014年8月	2014年7月 ～ 2014年9月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	85,000	84,700	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	89,540	88,650	
平均原料価格	円/トン	85,560	85,230	62,680

平均原料価格=LNG平均価格×0.9533+LPG平均価格×0.0506

(10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が100,290円以上となった場合は100,290円

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)  
= 85,230 - 62,680 = 22,500 円/トン

(100円未満端数切捨て)

### ●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.085×原料価格変動額÷100円×(1+消費税率)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2014年12月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	235.1474	255.8024	20.6550
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	177.1539	197.8089	20.6550

(小数点第5位以下の端数切捨て)

### ●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m <sup>3</sup> )	(A) 2014年11月	(B) 2014年12月	影響額 (B)-(A)
26	7,281	7,274	-7

計算式・・・基本料金(税込)+調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)